

海外派遣留学生
漢陽大学
留学報告書

学部学科・研究科専攻	工学部生物工学科		留学時学年	2年生
留学先	国	韓国	大学/機関	漢陽大学
期間	2026年2月18日～2026年3月5日			
	短期・中期・長期 ※〇で囲んでください。		計	1ヶ月

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 約54時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：韓国語、文化体験

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時～13時	○	○	○	○	○	○	Free
9時～12時50分	○	○	○	○	○	Free	Free
14時～17時	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

クラスは約10名程度の少人数で構成されており、受講者は全員日本人であった。授業は日本語をある程度理解できる教員が担当し、教科書が配布されたうえで、受講者のレベルに応じた内容で進行された。少人数であるため、発言や質問がしやすく、理解を深めやすい環境であった。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

課外活動では、現地のボランティア大学生と交流する機会があり、共に文化体験を行いながら現地の文化や価値観について理解を深めた。また、週末には自由時間を活用して、行きたい場所を訪れてショッピングを楽しむなど、主体的に行動した。さらに、課外活動で知り合った現地の大学生とカフェに行くなど、授業外でも交流を広げることができ、より実践的な異文化理解につながった。

[4] よく利用した施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等

博物館やチマチョゴリを貸し出す店舗などが挙げられる。博物館では歴史や文化に関する理解を深めることができ、チマチョゴリのレンタルでは実際に伝統衣装を着用することで、韓国文化をより身近に体験することができた。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：宿泊は寮ではなく、明洞近くのホテルを利用した。室内にはベッド、洗濯機、シャワー、ドライヤー、電子レンジ、ポット、タオルなどの設備が整っており、生活に不便を感じることはなかった。観光などで外出する時間が多く、部屋で過ごす時間は限られていたが、全体として快適で暮らしやすい環境であった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

本留学において最も印象に残ったのは、現地で友人を作ることができた点である。もともと友人作りを目標としていたが、実際に現地の学生と交流を深めることができ、カフェやディナーに行ったり、共に伝統衣装を着用するなど、特別な時間を数多く経験することができた。また、ショッピングにおいては、日本よりも手頃な価格で魅力的な商品が多く見られ、買い物自体も大きな楽しみの一つであった。さらに、韓国の人々は温かく親しみやすい印象が強く、弘大の街では音楽に合わせて人々が自然と集まり踊る光景に触れるなど、日常の中でワクワクする体験をすることができた。

● 苦労したこと：

まず言語面において、自分の伝えたいことを相手にうまく表現できない場面があったことである。単語や表現が十分に出てこず、もどかしさを感じることもあった。また、移動手段である地下鉄の利用においても、事前に経路や乗り換えをしっかりと調べておかないと迷ってしまうことがあり、慣れるまでは苦労した。しかし、これらの経験を通して、事前準備の重要性や、積極的に伝えようとする姿勢の大切さを実感することができた。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

語学力の向上については、日常生活の中で実際に使用できる表現を多く身につけることができた点大きい。授業で学んだ内容だけでなく、現地での会話を通して実践的な表現を習得することができ、理解だけでなく運用面でも成長を実感した。また、繰り返し使用することで自然と定着し、多くの語彙や表現を覚えることができた。

2) 専門知識の向上：

韓国の文化に対する理解を深めることができた点大きい。授業や課外活動を通して、歴史や伝統、日常生活に根づく価値観に触れる機会があり、単なる知識としてではなく、実体験として学ぶことができた。また、現地の人々との交流を通して、文化の違いや共通点を実感し、多角的に物事を捉える力が養われた。

3) 自己成長など：

語学面での変化が大きい。私の祖父母は韓国人であるが、これまでは韓国語で十分に会話することができなかった。しかし、本留学を通して表現の幅が広がり、韓国語でのやり取りがスムーズになった。その結果、祖父母が日本語に頼ることなく会話できるようになり、より深いコミュニケーションが取れるようになった点に成長を感じた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

学年を理由に留学をためらうのは非常にもったいないと感じる。大学生活は4年間あり、たとえ在学期間が延びたとしても、人生全体で見れば大きな問題ではない。留学は自分の視野を広げ、自分の小ささや世界の広さを実感できる貴重な機会である。ぜひ挑戦し、実際に経験してほしい！！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	50万
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費・ホームステイ代など)	0
4	教材費		0
5	保険代		0
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		15万
7	個人的な買い物		5万
8	その他()		0
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)		70万
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)		70万





